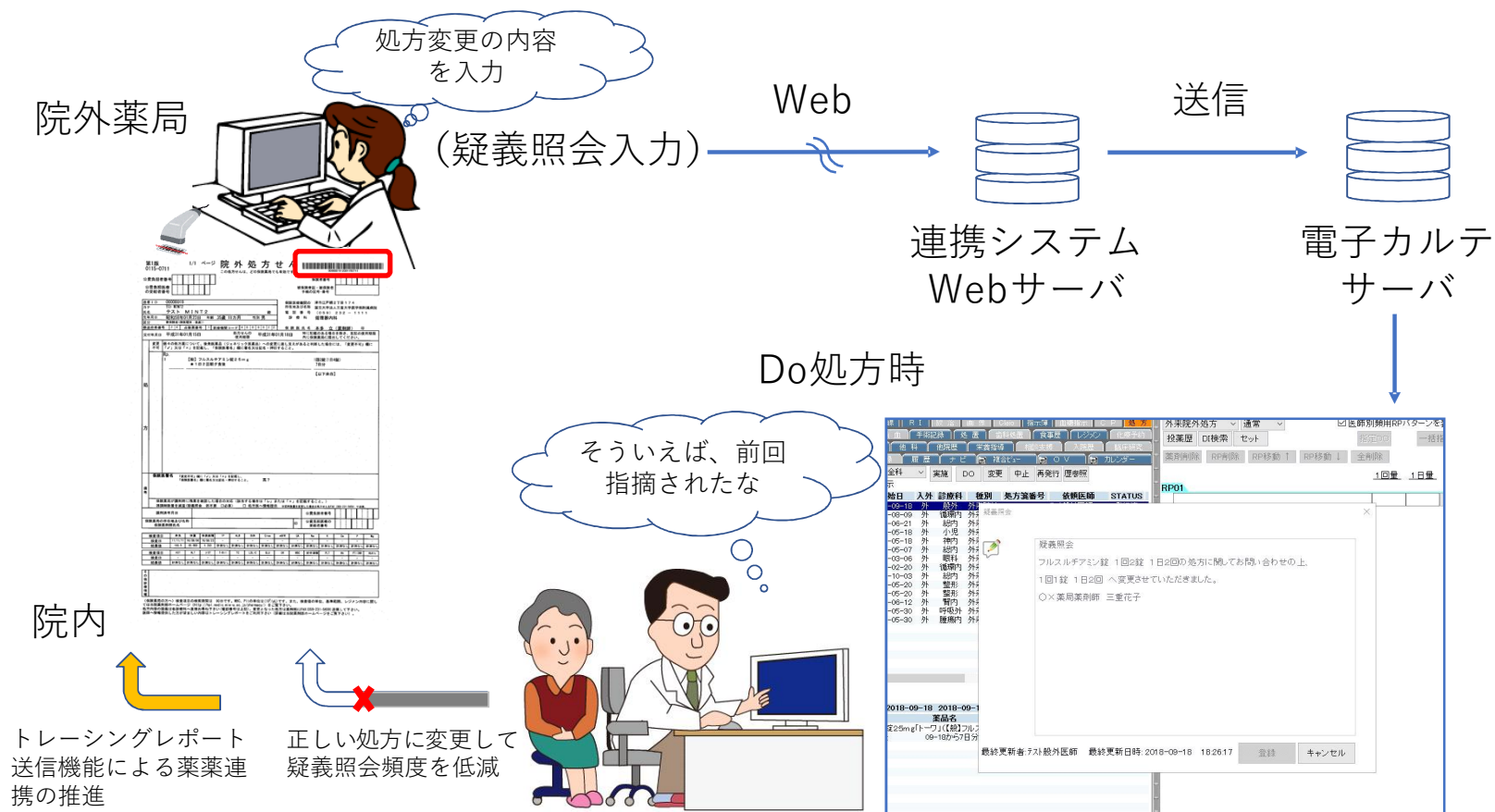


報告システム運用イメージ

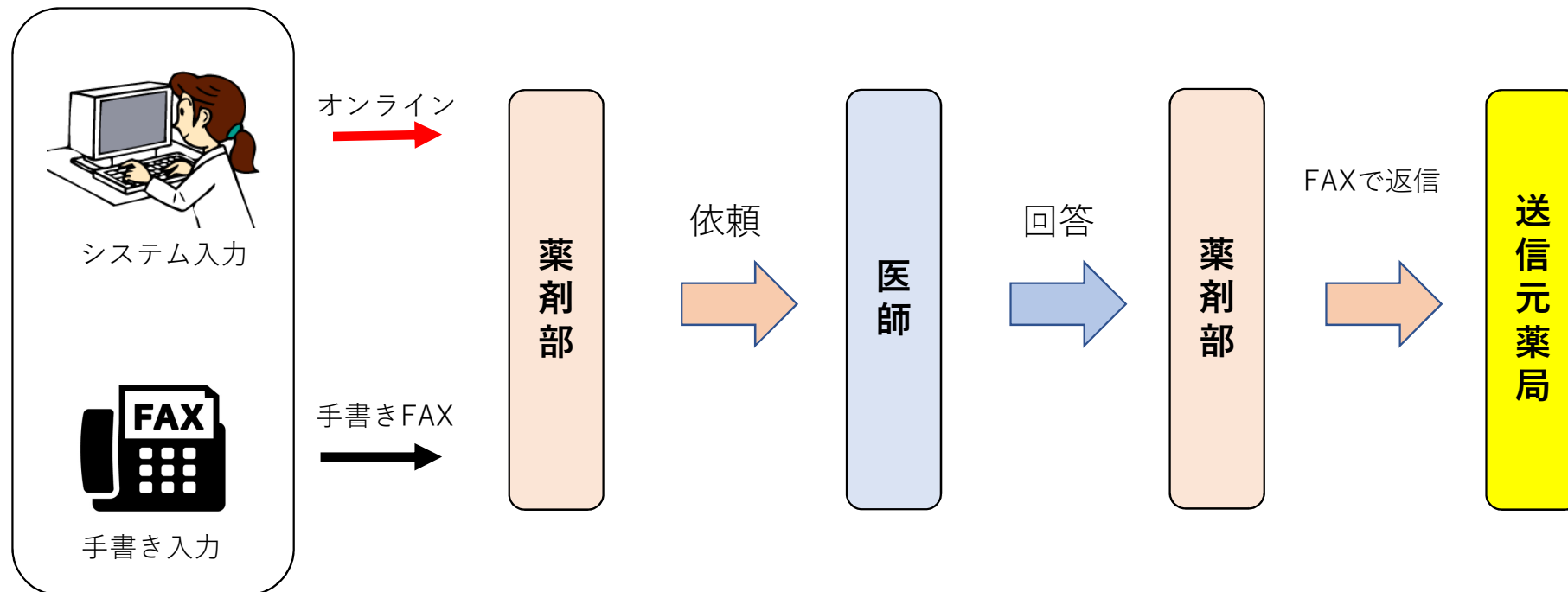


医師の応答が必要な報告は、入力内容をトレーシングレポートとして送信できます。

疑義照会処方せん、トレーシングレポートのFAX送信は不要です。

トレーシングレポートの取り扱いは従来と変更はありません。

(手書きFAXでもお送りいただけます。)



※薬剤部から医師に連絡し、回答を送信元施設にお返しいたします。

アプリ接続イメージ

VPNアクセス画面

Mie University Hospital

ブックマーク

疑義照会・TR報告

ブックマークのクリックで
疑義照会Webアプリが表示
されます

疑義照会/トレーシングレポート報告

業局ID
ユーザーID

パスワード
パスワード

ログイン

実際の接続アドレスは、接続申請後に交付いたします。

様式

三重大学病院

疑義照会等オンライン報告システム申請書

三重大学医学部附属病院

医療情報管理部長 殿

申請年月日：令和 年 月 日

下記のとおり、処方せん疑義照会等オンライン報告システムの利用を申請いたします。

記

所属医療機関			
所在地			
申請者名			
接続先	院内	方向	接続元プロバイダ等
	<input checked="" type="checkbox"/> 特定 IP アドレス 院外疑義照会連携用サーバ	← 院内に アクセス	
プロトコル名	https	ポート番号 [10443]	TCP
接続回線	三重大病院 VPN 接続（インターネット経由）		
申請区分	新規 ・ 更新		
リモートアクセス機器 接続先	接続機器名：院外疑義照会連携用サーバ（VPN接続経由） 設置場所：医療情報管理部 サーバ室		
接続図	省略		
希望 使用期間	令和 年 月 日（ ） から 令和 年 月 日（ ） まで		
特記事項	・バーコードリーダー貸与（ 要 ・ 不要 ） (アクセス権は、医療機関または応需薬局毎に発行致します。)		

(注) ※ 接続の際には、セキュリティ対策をしっかりと行ってください。

疑義照会・トレーシングレポートのオンライン報告にかかるQ & A

①オンラインでの報告を実施するために必要な回線接続の申し込みは誰が出来ますか

接続用アカウントの申し込みは、各保険医療機関（薬局）単位となります。

②専用のインターネット回線は必要ですか。

インターネット回線は必要ですが、PMDAの添付文書情報などを参照するための一般的な回線で接続できます。固定回線でなくても、モバイルルーターや携帯電話のテザリングなどを利用可能です。

③接続申し込みに際して、病院との特別な契約が必要ですか。

接続に際して参照出来る患者情報は、処方せんに記載されている情報の範囲内に限定しています。薬剤師法に規定する業務の範囲内での連携を想定しており、当院との特別な契約は必要ありません。

④システムを利用するために患者さんの同意を得る必要はありますか。

患者さんが薬局に処方せんを提出した時点で、薬局との間で当該処方せんに関する役務提供の契約が成り立つと解釈されます。服薬状況の確認と医師への報告は薬剤師法上の義務規定に該当しますので、患者同意の取得は不要です。

⑤Windowsパソコンでなければ使用できませんか。

Windows10以上のPCを推奨しますが、MacOSやiOS、ChromeOS、アンドロイド等Webブラウザが利用できる端末であれば利用出来ます。（キーボードがあればなお入力が容易です）

⑥処方せん番号を手入力するのが大変なのですが。

院外処方せんに印字されているバーコードを読むことの出来るバーコードリーダーを貸与（無償提供）します。USB(USB-A)コネクタのある機種で利用出来ます。必要なご施設はお申し出下さい。

⑦推奨ブラウザはどれですか。

Windows標準のEdge、Google Chrome、iOS Safari等が利用出来ます。

⑧セキュリティ対策は必要ですか。

一般的なWindows10以上のバージョンのPCであれば、標準でWindows Defenderというセキュリティ機能を利用出来ます。更に対策を取る場合には、ESETという会社の製品がおすすめです。（予防検知機能による新種ウイルスの検知例など有用性に定評があり、実際に三重大学全学で採用しています）